

MAX

LABEL PRINTER **LP-503S**

操作マニュアル



- ご使用前に必ず取扱説明書兼保証書とこの操作マニュアルをお読みください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

目次.....	2
はじめに.....	4
安全にお使いいただくために.....	6
使用上の注意.....	11
1日の作業前に必ずご確認ください.....	12

1. ラベルプリンタでできること 13

1.1 本体で発行する.....	13
1.1.1 通常ラベル発行.....	13
1.2 本体でレイアウトを新規作成・編集する.....	15
1.3 パソコンから発行.....	21

2. メニュー..... 22

2.1 メニュー画面.....	22
2.2 設定.....	23
2.2.1 基本でできること.....	24
2.2.2 位置設定でできること.....	26
2.2.3 時計設定でできること.....	27
2.2.4 PB 接続設定でできること.....	29
2.2.5 期限設定でできること.....	31
2.2.6 印字内容設定でできること.....	33
2.2.7 システム設定でできること.....	34
2.3 メンテナンスでできること.....	37
2.3.1 情報表示.....	37
2.3.2 バージョンアップ.....	38
2.3.3 コピー機作成.....	39
2.3.4 テンプレート管理.....	39
2.3.5 チェック機能.....	40
2.3.6 タッチパネル調整／設定.....	40
2.3.7 画面調整設定.....	41
2.4 レイアウトでできること.....	42
2.5 データ転送でできること.....	43
2.5.1 書出.....	43
2.5.2 取込.....	44
2.6 発行記録.....	44
2.7 店舗情報でできること.....	45
2.8 メモ用ラベル発行でできること.....	45

3. お手入れ方法.....46

3.1 お手入れについて..... 46

4. こんなとき.....47

エラー表示と対処方法..... 47

故障かなと思う前に..... 52

よくあるお問い合わせ..... 53

5. ふろく.....54

本機で使えるラベル紙について..... 54

はじめに

この度はラベルプリンタLP-500Sシリーズをご購入いただき誠にありがとうございます。
本機は、専用Windowsソフト（楽しくラベルLite）をお使いいただくことで、どなたにも簡単な操作でご希望のラベルレイアウトが編集できるだけでなく、本機単体でもラベルレイアウトを設定することができます。

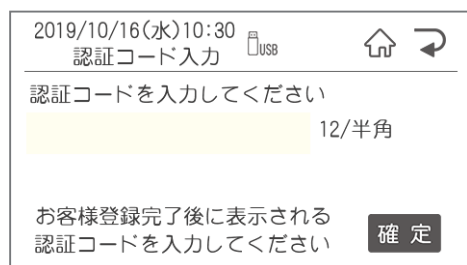
また本機単体での簡単な操作でスピーディーにラベル発行することができます。良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この操作マニュアルに従ってお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

この操作マニュアルは、LP-504Sをベースに作成されています。ご使用の機種によって、多少画面が異なる場合があります。

■ お客様登録のお願い（別紙「お客様登録のお願い」参照）

本製品をご使用前に必ずお客様登録を行ってください。

登録後に開設されるマイページにて認証コードが発行されますので、その認証コードを本体起動時に表示される画面で入力してください。



ユーザー登録を行うことで、

- 保証期間を半年から3年へ延長
 - PCアプリ『楽しくラベルLite』のダウンロード
 - 代替機の無償貸出
- を受けることができます。

■ マニュアルの使い方

本機を使用するために3種類のマニュアルがあります。

まずは①取扱説明書からご覧ください。

下記で内容をご確認の上、必要なマニュアルをご使用ください。

※マニュアル内の画面は、機種によって内容が異なる場合があります。

①取扱説明書（別紙）

本製品をご使用上の注意、ソフトウェア・プリンタドライバのインストール、ラベルセット方法、エラー表示と対処方法など本製品全般を説明します。

②LP-500Sシリーズ操作マニュアル（本書）

プリンタ本体の詳しい操作手順を説明しています。

③楽しくラベルLite・Pro取扱説明書（電子マニュアル）

パソコン用ソフトウェア『楽しくラベル』の操作を説明しています。

Cドライブ - MAX - 「楽しくラベルLite (Pro)」内の取扱説明書をご覧ください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

VCCI-B

- 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらご連絡ください。
- 万が一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことによって生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。





Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マックス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

安全にお使いいただくために

この操作マニュアルおよび商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。

その表示と意味は次のようになっています。

■表示について

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害の発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、原状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。




メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。








参照

説明のページが異なる場合に参照するところを書いてあります。





■絵示について

	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。
	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

⚠ 警告

	本機は絶対に <u>分解または改造しない</u> でください。火災、感電、故障の原因となります。
	本機の内部に <u>指、ペン、針金などの異物を差し込まない</u> でください。本機が故障したり、火災、感電の原因となります。
	<u>傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わない</u> でください。火災・感電・故障の原因となります。
	<u>電源はAC100V専用コンセントを使用してください。</u> 100V以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因となります。
	電源は直接コンセントからとり <u>タコ足配線はしない</u> でください。火災の原因となります。
	<u>電源コードの上に重いものを絶対にのせない</u> でください。電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
	<u>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</u> でください。感電の恐れがあります
	<u>水、薬品などが機械にかからないようにしてください。</u> 万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因となります。
	<u>故障のまま機械を使わない</u> でください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	<u>本体は必ず水平に設置してください。</u> ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因となります。
	同梱されている電源コードは、本機専用です。 <u>本機以外に使用しない</u> でください。および他商品の電源コードを本機に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

	大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	USBメモリの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行なうか、シフト + 削除 / クリアを押して、USBマークが消えている状態でUSBメモリを取り外してください。電源ONのまま、またはUSBマークが表示している状態でUSBメモリを装着脱すると保存したデータが消失したり故障する場合があります。
	電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	設置場所を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源プラグをつないだまま移動させるとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。
	パソコンや、本体内部、USBメモリに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。予めご了承ください。
	印字ユニットには絶対にさわらないでください。発行直後の印字ユニットは高温になっており、やけどをするおそれがあります。また、手の汚れが印字ユニットの故障の原因になることがあります。
	本機内部にラベル、異物等がはさまるなどで、印字やラベルカットが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
	ドアカバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください。
	本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体底部を持って運んでください。落下等でけが、故障の原因になります。
	ラベル排出口にはカッター刃があります。けがの原因になるのでさわらないでください。
	電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱により火災や故障の原因になります。

無線機器使用上の注意

■ Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10m程度までの距離で通信を行うことができます。

赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格です。

■ Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応プロファイル : GATT

対応バージョン : Bluetooth標準規格Ver. 4.2準拠

■ 通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなる場合があります。

- ・ Bluetooth接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・ 無線LANが構築されている場所
- ・ 電子レンジを使用中の周辺
- ・ その他電磁波が発生している場所

■ 他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・ 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
- ・ 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

■ 他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させるおそれがありますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- ・ 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所。
- ・ 自動ドアや火災報知機の近く

注意

- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 予想できない問題が生じた場合、本製品に接続しているスマートフォンや、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数について

本機は2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、マックスのお客様ご相談ダイヤルまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

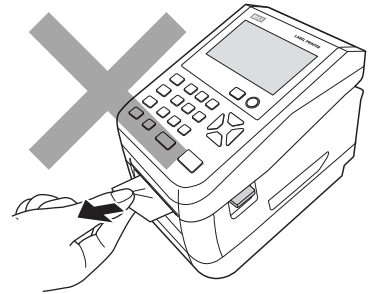
2	.	4	F	H	4

本機は、工事設計承認を取得した無線設備が内蔵されています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。但し、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

使用上の注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- 電源が入っているときに、ラベルをセットした状態でラベルを強く引っ張らないでください。
- コネクタには直接手で触れないでください。
静電気により故障の原因となる場合があります。



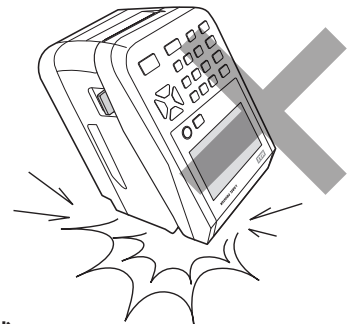
- 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶媒(アルコール、ベンジン、シンナーなど)や濡れ雑巾などは使用しないでください。
機械が変形したり、変色することがあります。



- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。
 - ・直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
 - ・ホコリや湿度の多い場所
 - ・振動や衝撃の加わる場所
 - ・温度が4℃以下、36℃以上になる場所で使用しないでください。
 - ・温度が0℃以下、40℃以上になる場所に保管しないでください。

- 落としたり、ぶついたりして、強いショックを与えないでください。

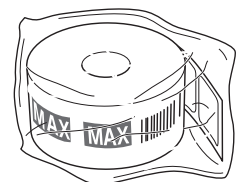
- LCDディスプレイ部を強く押さないでください。
割れることがあります。



- 消耗品(ラベル)は専用のものをお使いください。
その他のものをご使用になると正常に動作しなかったり、発行できない場合があります。

- ラベルにホコリやゴミ等が付着すると、本機での発行時にスジ状に印字が抜けることがあります。
ラベルの保管は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないようご注意ください。
なお、ホコリやゴミが付着した場合は、布などで取り除いてからご使用ください。

- 本機で使えるラベルは専用感熱紙のみです。
ラベルの保管は、直射日光や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管してください。



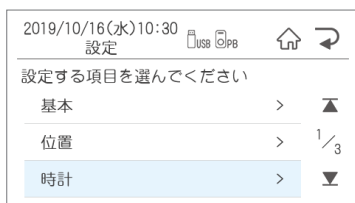
1日の作業前に必ずご確認ください

■ 日時入りラベルを発行するときのご注意

画面左上に現在日時を表示しますので必ずずれていないかご確認ください。

● 日時がずれていた場合の変更方法

- ①メニュー画面の「設定」から「時計」を選択します。
- ②「時計」メニューで日時設定を選択します。
- ③ 日時設定画面で数字キーで修正をし、確定キーを押してください。



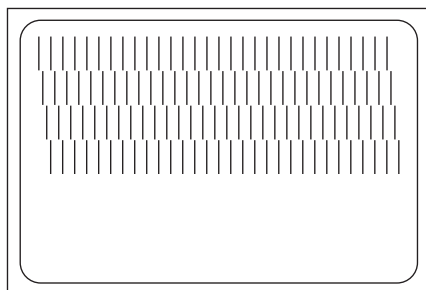
■ バーコード入りラベルを発行するときのご注意

本機でJANコードなどのバーコードを含むラベルを発行する場合は、印字抜けにご注意ください。

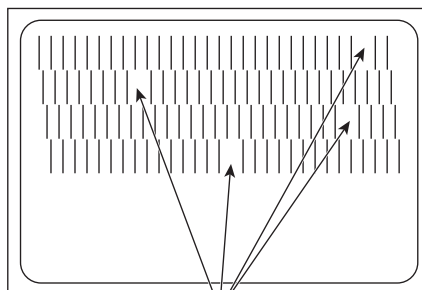
メニュー画面のメンテナンス - チェック機能 - テスト発行を選択し、テスト発行画面で「する」で確定をします。印字抜けチェックパターンが発行されます。

● 落線が抜けているよう見える場合は、印字抜けが発生しています。

□ 印字抜けがない場合



□ 印字抜けがある場合



印字抜け

お願い

- 印字抜けが確認された場合は、ラベル発行を止め、印字ユニットやローラーをクリーニングしてください。改善されない場合はご購入販売店様までご連絡下さい。

 クリーニング方法は、「3.お手入れ方法」を参照してください。

⚠ 注意

印字ユニットの交換はご購入販売店様までご依頼ください。バーコードは、細バーサイズ3ドット以上でご使用になることをお奨めします。バーコード印字不良などによる損害、ならびに逸失利益については、弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

1. ラベルプリンタでできること

1.1 本体で発行する

1.1.1 通常ラベル発行

ファイルを選択

ファイル選択画面で発行したいラベルを選択し、発行/確定を押します。

ファイル番号	ファイル名	検索アイコン	選択アイコン
001	要冷蔵	🔍	▲
002	焼き菓子詰合せ	🔍	1/8
101	マドレーヌ	🔍	▼

番号検索 用紙サイズ 4046 / 4046

選択の方法は3種類あります。

- 1、上下矢印ボタンで移動
- 2、直接ファイル番号を入力
- 3、シフト+カナでかな検索

※印刷するファイルのプレビューを見たい場合は、ファイル名右端のプレビューボタンを押して、確認することができます。

本体リスト接続されたファイルを選択した場合

本体リスト接続されたファイルでは、ファイルを選択して発行ボタンを押すとリスト番号を聞いてくるのでリスト番号を入力して発行/確定を押します。

2019/10/16(水)10:30 本体リスト検索

🔍 検索列: 番号 12/半角

検索キー:

データ確定: 食材名
検索結果: **確定**

※本体リスト接続されたファイルは発行時変更ができません。

発行時変更

発行時変更可能なオブジェクトは

- 文字枠: 半角数字、一覧リスト、リスト接続
- バーコード: JAN13・JAN8・CODE128
- 時計: 加算・直接・日付語句の切替が可能
- 連番
- 枚数

※栄養成分枠がある場合は、時計のみ変更が可能です。

【変更の仕方】

変更可能な項目のみ表示されています。

初期値は発行にカーソルがあるので、変更したい項目に移動して、発行/確定を押してください。

2019/10/16(水)10:30 発行時変更

002 焼き菓子詰合せ

A 個数 5

🔍

🕒 賞味期限 2019年11月01日 1/1

▼ **発行**

●文字枠

2019/10/16(水)10:30 発行時変更

123 文字枠1 12/半角

🔍

123 ⓘ

確定

発行時変更では価格などの数字の変更が可能です。

●バーコード枠

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

バーコード 12/半角

4902870709112

確定

本機で修正できるバーコードの種類は
JAN 13・8・CODE128です。
QRコード、ITF、CODE39は本機では修正
できません。

●時計枠

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

賞味期限

0年 0月 14日

を今の時間に加算 確定

加算日を3日とすると発行当日から3日後の日付
でラベルを発行します。

※当日に今日を含む設定をすることもできま
す。詳しくは「設定 - 期限設定 - 加算基準日
設定」をご覧ください。

日付語句等モードを変更する場合は、「メニュー
/切替」ボタンを押すと、モードの切替ができます。

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

賞味期限

加算 直接入力 当日

1/2 確定

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

賞味期限

枠外上部に記載 枠外下部に記載 フタに記載

1/2 確定

●連番入力

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

連番カウント

1

連番開始番号 0005

発行

連番の開始番号を編集することができます。

●枚数

2019/10/16(水)10:30
枚数入力

何枚印刷しますか

1枚

発行

●仮想カレンダー

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

仮想カレンダー使用

する しない

この設定は電源OFFまで有効です 確定

日付語句等モードを変更する場合は、「メニュー
/切替」ボタンを押すと、モードの切替ができます。

1.2 本体でレイアウトを新規作成・編集する

ここでは新規作成で説明をします。すでにあるファイルを編集する場合は、②で編集を選択してください。編集できるオブジェクトは文字枠(半角数字のみが入力されている枠のみ)、バーコード枠、時計枠です。

※文字枠にはひらがなや漢字を入力することも可能です。

1 メニュー画面からレイアウトを選択します。



2 新規作成を選択します。



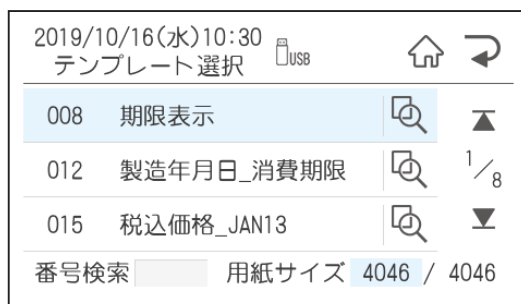
3 テンプレートから、ファイルからのいずれかを選択します。



レイアウトの作成は2種類の方法があります。

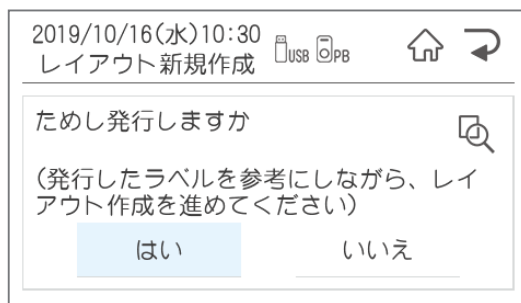
- ①テンプレートから：
本体に搭載されているテンプレート
- ②ファイルから：
楽らくラベルLiteから転送したファイル、
楽らくラベルProで作成し転送したファイル

4 ベースとなるテンプレート(ファイル)を選択します。



どんなテンプレートが確認する場合は、プレビューボタンを押して確認するか、確定を押すためし発行の画面が表示されるので、ためし発行をして確認することができます。

●ためし発行







5 編集をする。



編集後にためし印刷をするか確認画面が表示されるので、ためし印刷をして、間違っていないか確認をするようにお願いします。


編集する


編集可能なオブジェクトが表示されます。
編集したいオブジェクトを選択します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成    

002 焼き菓子詰合せ





A 個数
5  

 賞味期限
2019年11月01日 1/1


 **確定**

●文字枠を編集する

選択した文字枠が表示されます。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成    

123 文字枠1 12/半角

123 

確定

※テンプレートの文字枠に入っている数字は下記の項目が入るように、作成されています。
入力の際に参考にしてください。

数字	項目	数字	項目
1	商品名	10	賞味期限・消費期限
2	名称	11	要冷蔵・要冷凍
3	原材料名	12	単位
4	内容量	13	エネルギー
5	保存方法	14	たんぱく質
6	店舗情報	15	脂質
7	原産地	16	炭水化物
8	注意書き	17	食塩相当量
9	製造者・販売者	18	推定値

●入力モードの切替

メニュー / 切替ボタンを押すと、入力モードが切り替わります。

●ひらがな入力

「が」を入力する場合は、「か」を6回、またはシフト+「か」を押します。

か→き→く→け→こ→

が→ぎ→ぐ→げ→ご→カ→ケ

●漢字変換

ひらがな入力後、空白/変換ボタンを押すと、候補が表示されます。

※よく使う文字は、最初のひらがなで変換を押すと出てくるものもあります。

ち→直射日光 や こ→小麦粉など

●単漢字変換

シフト+空白/変換で単漢字変換します。

その他の入力をする場合はシフト+メニュー / 切替で入力モード一覧が表示されます。

2019/10/16(水)10:30
入力メニュー  

新規作成

一覧リスト > 

リスト 接続 > 1/4

一般(記号) > 

モード	代表的なもの
一般(記号)	& % ()
一覧リスト	原材料・原産地・添加物リスト
本体リスト	楽らくラベルLiteから転送したリスト
編集用	改行 下線 上付き・下付き
単位	℃ cm mg
省略	(株) TEL No
年号	平成 昭和 元
数字	① ② ③
ロシア	ロシア文字
ギリシャ	ギリシャ文字
JIS入力	JISコードから入力

●一覧リストを使用する

- 1 シフト+メニュー / 切替で下記の入カメニューを表示させ、「一覧リスト」を選択します。



- 2 3種類の一覧リストの中から、使用するリストを選択します。



メモ

- このリストは自由にカスタマイズすることが可能です。
楽しくラベルLiteインストール後、CDドライブ MAX -楽しくラベルLiteの中に初期データが保存されています。自由に編集をして、楽しくラベルLiteの一覧情報からプリンタ本体に転送してください。
ファイル名は変更しないでください。

- 3 入力したい項目を選択して確定を押します。



- 4 「発行時変更」に設定するか、選択します。

はい → 産地など発行時に変更がある場合に選択します。

いいえ → 原材料一覧は表示されている商品に使われているであろう材料が入力されています。そのデータを活用してレイアウト作成すると便利です。
ただし、発行時変更は数字・リスト接続・一覧リストしかできませんので、材料が変わった場合は編集で修正をしてください。

●本体リスト接続を使用する

発行時にリストの番号を入力すると、その番号のデータの入ったラベルを発行することができます。
楽しくラベルLiteの本体リストから転送した商品マスタなどのリストを使用します。

- 1 シフト+メニュー / 切替で下記の入カメニューを表示させ、「本体リスト接続」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト 新規作成

新規作成

一般 > ▲

一覧リスト > 1/4

本体リスト 接続 > ▼

- 2 何列目を印刷するかを左右矢印で選択し、確定を押します。※矢印を押すとリストの1行目を表示します。

※リストを作成する際には、1行目にタイトルが来るように作成してください。リスト接続を止める場合は、「リスト接続解除」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト 新規作成

何列目を印刷しますか

◀ 3 列目 ▶

食材

確定

●バーコード枠を編集する

2019/10/16(水)10:30
レイアウト 新規作成

バーコード 12/半角

4902870709112

確定

すでに入っている数字を削除して、編集してください。

※本体リスト接続されたファイルは発行時変更ができません。

●日付枠の設定

1 日付枠の種類を加算・直接入力・当日・日付語句から選択し、詳細設定をします。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成 USB

⌚ 期限

加算 ▲

直接入力 1/2

当日 ▼ 確定

2 詳細設定をする

・加算を使用する場合

加算する期限の範囲を設定することができます。設定する場合は「はい」を選択します。「はい」を選んで、範囲を設定しておく、発行時に誤って範囲外の期限を入力してもエラーで印刷させなくすることができます。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成 USB

期限範囲を設定しますか

はい いいえ

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成 USB

⌚ 期限

範囲: 0 ~ 0 日

(入力範囲 0~999)

確定

加算する初期値を設定します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成 USB

⌚ 期限

加算 ▲

直接入力 1/2

当日 ▼ 確定

・直接入力を使用する場合

印刷したい日時を入力します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成 USB

⌚ 期限

20 19 年 10 月 16 日

10 時 30 分

直接入力 確定

・当日を使用する場合

「当日」のみ設定はありません。そのまま③から設定してください。

・日付語句を使用する場合

印刷したい内容を選択します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成 USB

⌚ 賞味期限

枠外上部に記載 ▲

枠外下部に記載 1/2

フタに記載 ▼ 確定

3 表示形式を選択します。

年月日・時分の順に選択します。

※日付語句を選んだ場合でも、発行時変更で他の設定に変更した時のために、設定が必要です。

2019/10/16(水)10:30 USB
レイアウト新規作成

🏠 ↶

🕒 期限

15. 04. 01	▲
15. 4. 1	10/25
' 15. 04. 01	▼

確定

2019/10/16(水)10:30 USB
レイアウト新規作成

🏠 ↶

🕒 期限

表示しない	▲
午前8時05分	1/3
午前08時05分	▼

確定

4 「発行時変更」に設定するか選択します。

「はい」の場合は発行時に変更ができるようになります。

5 保存します。

ファイル番号、ファイル名、カナ検索ワードを入力して、保存確認画面で、よろしければ「はい」を押して保存します。

2019/10/16(水)10:30 USB
レイアウト新規作成

🏠 ↶

ファイル番号 12/半角

123 ⓘ

確定

2019/10/16(水)10:30 USB
レイアウト新規作成

🏠 ↶

ファイル名 12/半角

あんドーナツ ⓘ

確定

2019/10/16(水)10:30 USB
レイアウト新規作成

🏠 ↶

カナ検索ワード ｶ/半角

ア ⓘ

確定

1.3 パソコンから発行

1 楽しくラベルLiteを起動します。

「楽しくラベルLite」を起動するには、「スタート」－「すべてのプログラム」－「MAX」－「楽しくラベルLite」で楽しくラベルLiteをクリックします。

モード選択画面で編集/印刷を選択します。

2 編集モードが立ち上がるので、ラベルを作るを選択し、必要な内容を修正します。



3 修正が完了したら、印刷してみるを押します。印刷設定が表示されるので、枚数を設定してOKを押します。



2. メニュー

2.1 メニュー画面

メニュー画面へは、メニュー／切替を押すと移動します。



番号	項目	内容
1	設定	各種設定を行います
2	メンテナンス	バージョンアップやメンテナンス
3	レイアウト	レイアウトの作成や編集
4	データ転送	PCやUSBメモリとのデータ転送
5	発行記録	発行用記録取り出しや発行
6	用紙認識	用紙認識を行います
7	店舗情報	店舗情報を設定します
8	メモラベル発行	メモラベル発行を行います

2.2 設定

ここでは、プリンタ本体に関する機能や初期値を設定できます。

【設定できる項目の一覧】

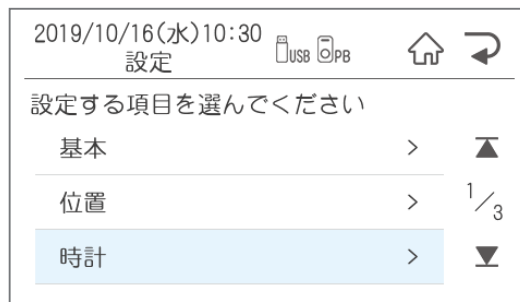
番号	分類	機能
1	基本	印刷に関する設定を主に行います
2	位置	送り位置などの位置に関する設定を主に行います
3	時計	時計合わせなどに関する設定を主に行います
4	PB接続設定	PBボタン(発行ボタン)の設定を行います
5	期間設定	夏時間など期間に関する設定を行います
6	印字内容	印字欠けチェックなど印字内容に関する設定を行います
7	システム	発行時変更などシステム全般に関する設定を行います

設定画面への入り方

1 「ファイル選択」画面でメニュー / 切替キーを押します。



3 設定項目が表示されるので、設定したい項目を選択します。



2 「メニュー」画面で設定を押します。



2.2.1 基本でできること

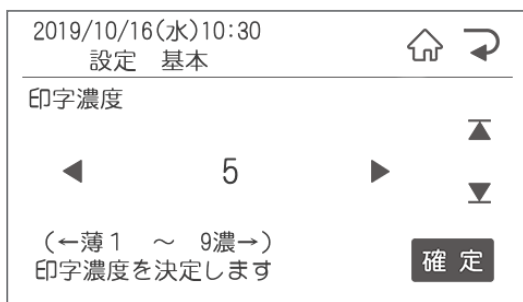
基本では、下記基本設定に関する内容の設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	入力範囲
1	印字濃度	印字の濃度を設定	5	1～9
2	印刷の向き	印字の向きを設定	逆方向	正方向／逆方向
3	入力初期モード	入力モードの初期値の設定	全12	全かな/全カナ/半かな/全AB/ 半AB/全12/半12
4	計算A	計算Aを設定	100	1～999
5	計算B	計算Bを設定	100	1～999
6	発行者管理	発行者管理を設定	しない	しない／都度／継続

印字濃度

印刷したラベルの印字が薄い場合、または濃い場合に調整します。

- 1 左右矢印で数字を変更し、確定を押します。
数字を大きくすると濃くなります。



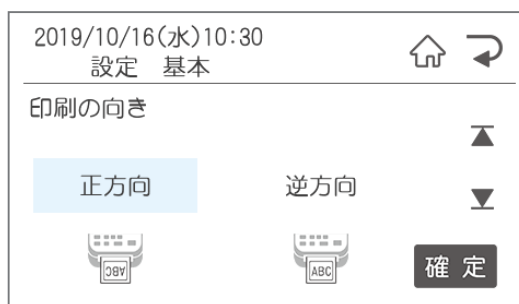
- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

印刷の向き

印刷の向きを設定します。



- 1 左右矢印で逆方向/正方向を選択し、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

入力初期モード

文字入力時の初期値を設定します。
入力モードはメニュー／切替ボタンで文字入力中に変更することができます。

- 1 左右矢印で初期値にしたい入力モードを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

入力初期モード

12/半角

発行時変更入力

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

計算A・B

計算した結果を印刷したい場合に使用します。

- 1 数字を入力して確定を押します。
110%にしたい場合は110と入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

計算A

パーセント: 110 % (1~999)

小数処理: 切捨て

計算Aに使用するパーセントと
小数処理を設定できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

計算A・Bを使用したい場合は、楽らくラベルでレイアウト作成時に本体での表示名を「計算A(またはB)」にしてください。A・Bは全角です。

発行者管理

※発行者管理機能を使用する場合は、パスワード設定をおこなう必要があります。
楽らくラベルProの発行者管理機能を使用する際に設定します。

- 1 左右矢印でする／しないを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

発行者管理

する しない

発行者の履歴を残しません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.2 位置設定でできること

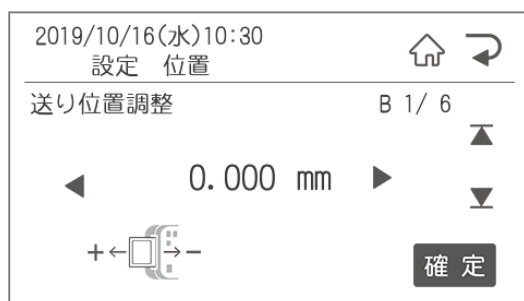
位置設定では、下記の印刷の位置設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	送り位置調整	送り方向の印刷位置を調整	0	-3.0 ~ +3.0
2	幅方向調整	幅方向の印刷位置を調整	0	-3.0 ~ +3.0
3	1枚目の印刷位置	印刷後1枚目の停止位置の調整	0	-3.0 ~ +1.0
4	停止位置調整	印刷後の停止位置の調整	0	-3.0 ~ +3.0
5	発行形式	発行形式を選択	通常	通常/手切り
6	手切り発行後送り	印刷後の送り設定	する	する/しない

送り位置調整

ラベル内の送り方向の印刷位置を設定します。

- 1 印字が上や下に寄っている時に左右矢印で設定します。



- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

幅方向調整

幅方向の印刷位置を設定します。

- 1 印字が左右どちらかに寄っている時に左右矢印で設定します。

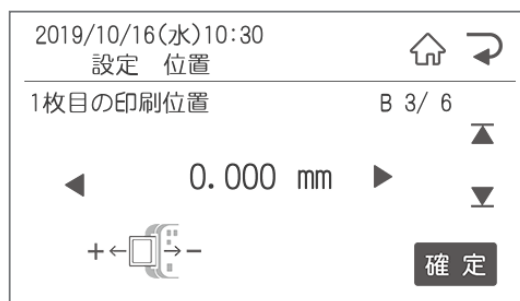


- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

1枚目の印刷位置

1枚目の印刷位置を設定します。

- 1 左右矢印で設定します。

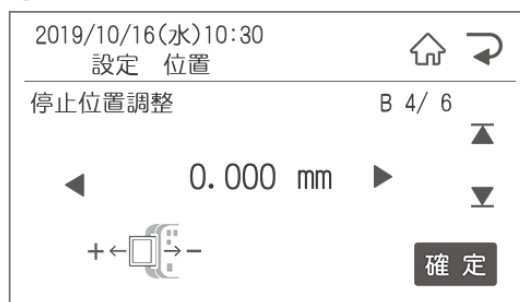


- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

停止位置調整

印刷終了後の停止位置を設定します。

- 1 左右矢印で設定し、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行形式

発行の形式を選択します。

- 1 本体の手切カッターを使用する時は左右矢印で手切りを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 位置

発行形式 B 5/ 6

通常 手切り

手切り位置まで発行します

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

手切り発行後送り

印刷後の送り設定を行います。
「しない」にすると手切りカッター使用に便利です。
「する」にすると、はさみを使って切る際に便利です。

- 1 形式を選択し、確定をします。

2019/10/16(水)10:30
設定 位置

手切り発行後送り B 6/ 6

する しない

する しない

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.3 時計設定でできること

時計設定では、下記の時計の設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	日時設定	時計合わせ	-(現在時刻)	年月日時分
2	開始基準時刻	「当日」の開始する時刻を設定	0	0~23
3	仮想カレンダー使用	仮想カレンダーを使用するか設定	しない	する/しない
4	仮想カレンダー初期設定	仮想カレンダーを初期設定するか設定	しない	する/しない

日時設定

現在時刻がずれている時に修正します。

- 1 左右矢印でカーソルを移動し、数字キーで入力、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

日時設定

20 19年 10月 16日

10時 30分

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

開始基準時刻

深夜営業の店舗など、当日扱いにする時刻を設定します。

- 1 当日の開始時刻を数字キーで設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

開始基準時刻

0 時

日付計算に使用する日が切り替わる基準時刻を設定できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

仮想カレンダー使用

明日の分の賞味期限の入ったラベルを今日印刷しておきたい場合など、一時的に本体の時計設定を変更したい時に設定します。

※発行したラベルのモニターデータは実際に発行した日に集計されます。

1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

仮想カレンダー使用

する しない

この設定は電源OFFまで有効です

確定

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

仮想カレンダー初期設定

仮想カレンダーをよく使う場合、電源ON時に仮想カレンダーをONに設定します。通常は電源OFFするたびに仮想カレンダーはOFFになりますが、「する」に設定した場合は常に仮想カレンダー設定にすることができます。

1 左右矢印で設定を選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

仮想カレンダー初期設定

する しない

電源ON時の仮想カレンダー設定状態を設定します

確定

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。仮想カレンダー使用

2.2.4 PB接続設定でできること

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	接続設定 ON/OFF	PB接続をするか設定	OFF	ON/OFF
2	新規登録	発行ボタンの新規登録	—	—
3	設定変更	発行ボタンの設定変更	—	—
4	設定確認	設定内容の確認	—	—
5	設定削除	設定内容の削除	—	—

PB設定 ON/OFF

発行ボタンを使用する時に設定します。

1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 PB接続設定

接続設定 ON/OFF

ON OFF

接続設定を有効にします

確定

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行ボタンの新規登録の場合

発行ボタンの設定を行います。

下記の場面が表示されたら登録したいボタンを押します。

■発行ボタンを初めて設定する

1 最初に接続設定 ON/OFFをONにします。

2019/10/16(水)10:30
設定 PB接続設定

接続設定 ON/OFF

ON OFF

接続設定を有効にします

確定

2 新規登録で登録したいボタンを押します。

2019/10/16(水)10:30
PB 新規登録

新規登録したいボタンを押してください

キャンセル

3 PB登録ファイル選択で、ボタンに登録するファイルを選択します。

2019/10/16(水)10:30
PB 登録ファイル選択

001	要冷蔵	🔍	▲
002	焼き菓子詰合せ	🔍	1/8
101	マドレーヌ	🔍	▼

番号検索 用紙サイズ 4046 / 4046

確定

4 枚数設定を選択します。 ここで登録した枚数が発行ボタンを押すごとに発行されます。登録したい枚数を数字キーで入力し、確定を押します。

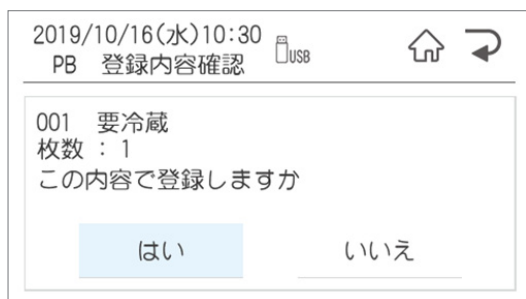
2019/10/16(水)10:30
PB 発行枚数設定

1回に発行する枚数を
入力してください

1枚

確定

5 設定した内容が表示されるので、登録する場合は「はい」を押します。



2019/10/16(水)10:30
PB 登録内容確認

001 要冷蔵
枚数 : 1
この内容で登録しますか

はい いいえ

設定変更

設定を変更する際に使用します。
変更したいPBボタンを押し、新しく設定するファイルを選択します。
手動の場合はボタンを選択後に登録するファイルを選択します。



2019/10/16(水)10:30
PB 設定変更

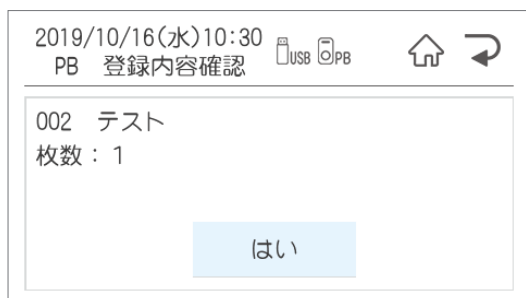
ボタンを選択してください

PB 1 000 期限ラベル

1/3

設定確認

設定を確認したいPBボタンを押すと、現在の設定が表示されます。



2019/10/16(水)10:30
PB 登録内容確認

002 テスト
枚数 : 1

はい

設定削除

設定を削除したいPBボタンを押すと、現在の設定が表示されます。削除する場合は「はい」を押します。

2.2.5 期限設定でできること

期間設定では、下記の期限に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	加算基準日設定	加算する時の基準日の設定	翌日	当日/翌日
2	日付確認画面表示	印刷時に日付の確認画面を出す設定	しない	する/しない
3	夏期間 開始/終了月日	夏期間の設	開始： 6月 1日 終了：10月31日	開始：1月 1日 ~ 12月31日 終了：1月 1日 ~ 12月31日
4	夏期間 減算時間	夏期間の減算設	0	0 ~ 9

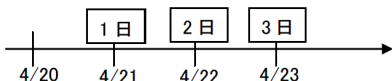
加算基準日設定

賞味期限などを計算(加算)する時の基準日を設定します。

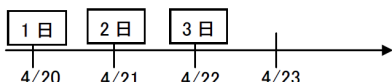
※「当日」設定の場合、加算日数「0」と「1」が当日になります。

【例】 4/20 に加算日数「3」日で発行した場合

・「翌日」設定の場合 →「4/23」で印字します。



・「当日」設定の場合 →「4/22」で印字します。



- 1 左右矢印でカーソルを移動し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 期限設定

加算基準日設定

当日 翌日

日付計算の基準日を設定します

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。テンキーで入力、確定を押します。

日付確認画面表示

印刷する日付を確認する画面を表示するか設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 期限設定

日付確認画面表示

する しない

発行時に印字する日付の確認画面を表示しません

確定

夏期間開始月日

夏期間の範囲、減算時を設定すると、ファイル毎に設定されている加算時間から減算して発行します。

- 1 夏期間の開始・終了月日を設定します。左右矢印ボタンで変更し、確定ボタンを押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 期限設定

夏期間 開始/終了月日

開始: ◀ 6月1日 ▶ ▲

終了: ◀ 10月31日 ▶ ▼

夏期間を開始する月日を設定します **確定**

- 2 夏期間中に減算する時間を設定します。左右矢印ボタンで設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 期限設定

夏期間 減算時間

2 時間 ▶ ▲

▼

夏期間中に減算する時間を設定します **確定**

- 3 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.6 印字内容設定でできること

印字内容設定では、下記の印刷内容に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	印字欠けチェック	印刷時に文字が欠けていないかチェックする	通知する 発行しない	通知する 発行しない 通知する 発行できる 通知せず発行する
2	JANガードバー表示	JANコードのガードバーを印刷するか	自動	する/しない/自動
3	自動長体化	枠内に文字が入るように長体化する設定	しない	する/しない

印字欠けチェック

印刷時に文字が欠けて印刷されないかチェックをします。
欠けていた場合の印刷するかの設定を行います。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 印字内容

印字欠けチェック

通知する、発行しない ▶

印字欠けチェックを行い、NGの場合は発行しません **確定**

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

JANガードバー表示

JANコードのガードバーを印刷するかを設定します。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 印字内容

JANガードバー表示

◀ 自動 ▶

ラベルレイアウトデータの設定を優先します **確定**

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

自動長体化

設定を「する」にした場合、入力した文字が枠内に入りきらなかった文字枠の文字を自動的に長体化します。

※ただし、以下の場合は長体化をしません。

- ・すでに長体化されている枠
- ・文字サイズが8.5Pt未満
- ・文字枠が縦書き

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 印字内容

自動長体化

する しない

文字が印字枠をはみ出す場合、自動で長体文字にします **確定**

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.7 システム設定でできること

システム設定では、下記のシステム設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	発行時変更の許可	発行時変更を許可するかの設定	する	する/しない
2	発行時変更保存	発行時変更を保存するかの設定	しない	する/しない
3	発行時の枚数選択	発行時に枚数を表示するかの設定	する	する/しない
4	発行後戻り先設定	発行後の戻り先の設定	ホーム画面	ホーム画面/発行ファイルの先頭の入力項目
5	キー音	キー音のありなしの設定	あり	あり/なし
6	オートパワー OFF	オートパワー OFFをするかの設定	する	する/しない
7	ヘッド自己診断	ヘッド自己診断をするかの設定	前	前後/後/前/なし
8	パスワード設定	パスワードの設定	----	数字4桁
9	端末番号	端末番号を設定	000	数字3桁

発行時変更の許可

許可「する」にするとレイアウトに発行時変更を設定されている項目の入力画面が表示されます。しないにすると表示だけでなく、編集も禁止にできます。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行時変更保存

保存「する」にするとラベルデータについて発行時変更で修正した内容を保存します。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行時の枚数選択

ラベル発行時の枚数指定画面の表示について設定できます。

枚数選択を「しない」にした場合、ラベルデータ毎に設定されている発行枚数でラベル発行されません。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行後戻り先設定

1 発行後の戻り先の画面を設定します。

2 次の設定が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

キー音

本機のキー音のあり、なしを設定します。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

オートパワー OFF

オートパワー OFF機能を有効にすると消費電力を抑えることができます。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

ヘッド自己診断

サーマルヘッドの素子破壊が起きていないか、本機が検知する設定を行います。
サーマルヘッドの素子破壊があるとスジ状に印字抜けが発生し、バーコードを含むラベルの場合は誤読の原因となりますので、通常は初期設定のままご使用ください。

- 1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム

ヘッド自己診断

← しない →

ヘッド自己診断を行いません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

パスワード設定

管理者以外が環境設定を変更できないようにパスワード保護を設定することができます。

- 1 数字キーでパスワードを設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム

パスワード設定

— — — —

設定や編集に関わるメニューにパスワードをかけます

確定

- 2 パスワードは0000から9999まで数字4桁で設定できます。
解除する場合は入っている数字を削除で消してください。

- 3 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

端末番号

ネットワークにてレイアウトデータを更新する場合の端末番号の設定を行います。

- 1 数字キーで設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム

端末番号

0

本体毎に端末番号を設定します

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.3 メンテナンスでできること

メンテナンス設定では、下記のメンテナンス内容に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容
1	情報表示	機種名や製造番号を表示
2	バージョンアップ	バージョンアップを行います
3	コピー機作成	コピー機を作成します
4	テンプレート管理	テンプレートのバージョンを表示とバージョンアップを行います
5	チェック機能	テスト発行を行います
6	タッチパネル調整／設定	タッチパネルの調整を行います
7	画面調整／設定	画面を調整します



2.3.1 情報表示

情報表示では下記のことを確認できます。



番号	項目	内容
1	バージョン	バージョンを表示
2	機種名	機種名を表示
3	用紙認識情報	現在の用紙認識されたを表示
4	製造番号	製造番号を表示

バージョン表示

本体のバージョンを表示します。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス  

バージョン

Version 1.00  

確定

次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

機種名表示

ご使用の機種名と品番を表示します。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス  

機種名表示

LP-504S/KITCHEN
(品番：1L90588)  

確定

次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

用紙認識情報

用紙認識されているラベルのサイズと種類を表示します。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	🏠 ↶
用紙認識情報	
用紙サイズ：幅52×長さ50	▲
用紙種類：上質感熱紙	▼
	確定

次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

製造番号表示

本体の製造番号を表示します。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	🏠 ↶
製造番号	▲
1234567890	▼
	確定

次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.3.2 バージョンアップ

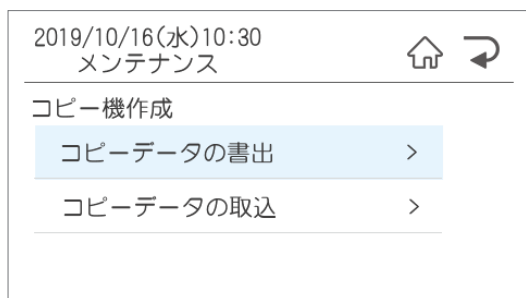
本体のバージョンアップを行います。

2019/10/16(水)10:30 バージョンアップ	🏠 ↶
バージョンアップを実行しますか	
はい	いいえ

次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.3.3 コピー機作成

本体に登録されているレイアウト・設定全てをコピーします。



次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

●コピーデータの書出

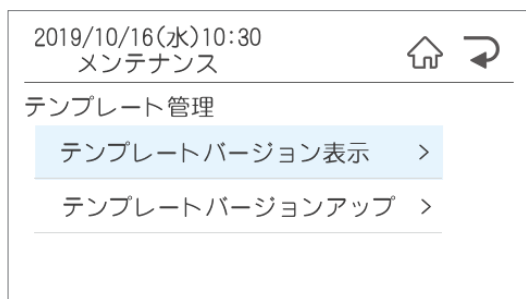
⇒本体からPC又はUSBへデータを書出す場合に選択。
選択後にPC又はUSBを選択して発行/確定ボタンを押します。

●コピーデータの取込

⇒PCから本体へデータを取り込む場合に選択。

2.3.4 テンプレート管理

本体に登録されているテンプレートのバージョンの確認とバージョンアップを行います。



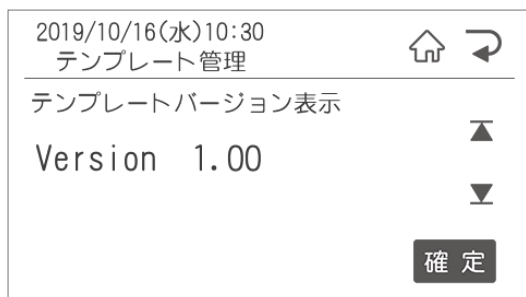
●テンプレートバージョンアップ

⇒バージョンアップを選択前にバージョンアップファイルを弊社HPからダウンロードし、USBメモリに保存。
そのUSBメモリを本体に挿入してください。

次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

●テンプレートバージョン表示

⇒テンプレートのバージョンを確認できます。



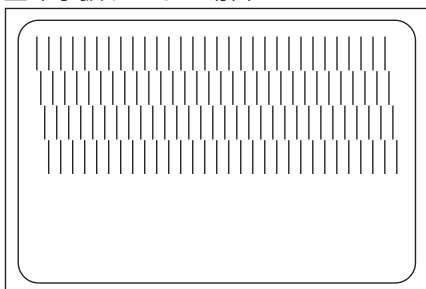
2.3.5 チェック機能

テスト発行を行います。

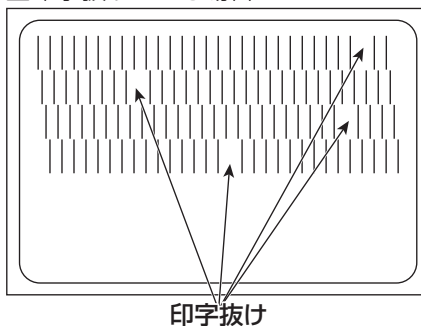
テスト発行をすると、印字抜けチェックパターンが発行されます。

●線が抜けているように見える場合は、印字抜けが発生しています。

□印字抜けがない場合



□印字抜けがある場合

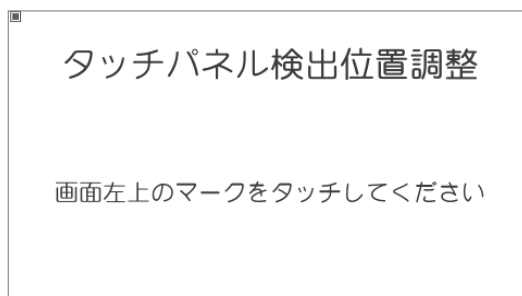


2.3.6 タッチパネル調整 / 設定

タッチパネルの検出位置調整を行います。

画面の指示に従って、マークをタッチしてください。

タッチは左上→右上→左下→右下→中央の順に押します。



2.3.7 画面調整設定

画面の調整と設定を行います。

LCD表示濃度

LCDの表示濃度を設定します。

- 1 左右矢印で設定します。
数字を小さくすると薄くなります。

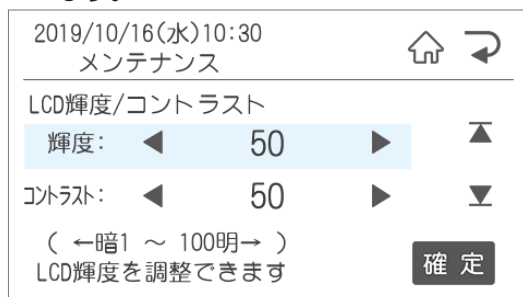


- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

LCD輝度／コントラスト

LCDの輝度とコントラストを設定します。

- 1 左右矢印で設定します。
輝度は数字を小さくすると暗くなります。
コントラストは数字を小さくすると弱くなります。



- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.4 レイアウトでできること



レイアウトではレイアウトに関する下記のことが行なえます

番号	項目	内容
1	新規作成	レイアウトの新規作成
2	編集	レイアウトの編集
3	削除	レイアウトの削除
4	メッセージ	メッセージの編集

※「1.新規作成」「2.編集」の操作は「1.2 本体でレイアウト新規作成・編集する」をご覧ください。

削除

本体に保存されているレイアウトを削除します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト  

削除

- ファイル 選択削除 >
- ファイル 全削除 >

●ファイル選択削除

⇒選択後に削除するファイル選択画面に移動します。
選択し確定すると選択したファイルが削除されます。

●ファイル全削除

⇒選択すると、保存されている全てのファイルを削除します。




次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

メッセージ

メッセージを設定しておく、ラベルの所定のスペースに下記のような「クリスマスケーキの予約を開始した」などのメッセージを入れることができます。


品名	フィナンシェ
名称	焼き菓子
原材料名	発酵バター、卵、グラニュー糖、アーモンドプードル、小麦粉 / 膨張剤
賞味期限	19.12.08
保存方法	要冷蔵 10℃以下
製造者	マックス製菓
責任者	松楠太郎
	大阪市福島区玉川 1-3-18

12/1よりXmasケーキの予約開始しました

2019/10/16(水)10:30   

メッセージ入力

メッセージ ひらがな

12/1よりXmasケーキの
予約開始しました 

確定

メッセージは直接プリンタ本体で入力するか、楽しくラベルLiteから転送することができます。



- 文字枠の本体での表示名を「メッセージ」にしておく必要があります。

2.5 データ転送でできること

データ転送ではデータのやりとりに関する設定が行なえます。

番号	項目	内容
1	書出	レイアウトをPCまたはUSBメモリへ書出します
2	取込	PCまたはUSBメモリからデータを取り込みます

2.5.1 書出

レイアウト・設定値の書出しを行います。

レイアウト→PCへ

レイアウトデータをプリンタ本体からPCへ書出します。

送信準備が完了しました

受信してください

上の画面の状態、楽らくラベルLiteでコピー機作成のレイアウトコピーの「本体から受信」を押すとデータがPCに転送されます。

レイアウト→USBメモリへ

レイアウトデータをプリンタ本体からUSBメモリへ書出します。

- 1 書出したいUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「レイアウト→USBメモリへ」を押すと、データがUSBメモリへ書き出されます。

設定値→USBメモリへ

プリンタ本体の設定値をプリンタ本体からUSBメモリへ書出します

- 1 書出したいUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「設定値→USBメモリへ」を押すと、設定値データがUSBメモリへ書き出されます。

2.5.2 取込

レイアウトや一覧データなどを取り込みます。

PCから

データをPCからプリンタ本体へ取込みます。

受信準備が完了しました

送信してください

上の画面の状態、楽らくラベルLiteの各設定の「本体に転送」を押すとデータがPCに転送されます。

USBメモリから

楽らくラベルLiteで作成した各データをUSBメモリからプリンタ本体へ取込みます。

- 1 データの入ったUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「USBメモリから」を押すと、データがUSBメモリからプリンタ本体へ取込まれます。

※USBメモリ内の全てのデータが取り込まれ、上書きされます。本体で編集したレイアウトがある時は注意してください。

2.6 発行記録

発行記録をUSBメモリに保存、またはラベルに発行をします。

CSVファイルに保存

発行記録をUSBメモリへCSVファイルの形式で保存します。

- 1 保存したいUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「CSVファイルに保存」を押すと、発行記録がUSBメモリに保存されます。

ラベルに発行

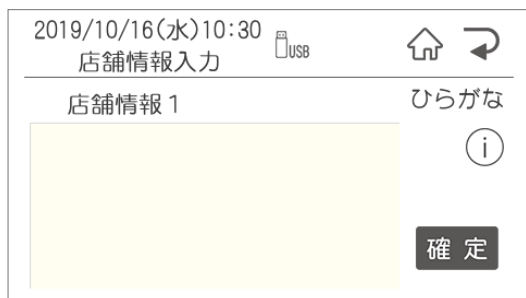
設定した日にちの発行記録をラベルに発行します。
最大200件まで発行します。200件以上の場合は「CSVファイルに保存」から確認ください。

2.7 店舗情報でできること

店舗情報を設定します。

店舗情報1・2

お店の店名や住所をプリンタ本体に登録することで、住所変更や店名の変更に素早く対応できます。



店舗情報は直接プリンタ本体で入力するか、楽らくラベルLiteから転送することができます。

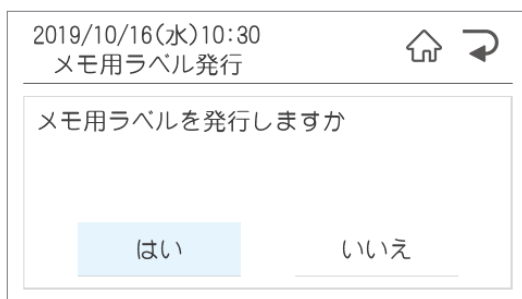
メモ

- 文字数の目安は下の表の通りです。レイアウトによって、入る文字数が変わりますので、ためし印刷をしながら設定をおこなってください。

フォント	32mm幅	40mm幅	52mm幅
8.5pt 全角	9文字	12文字	15文字
8.5pt 半角	18文字	24文字	30文字
8.5pt 全角・長体	14文字	18文字	23文字
8.5pt 半角・長体	28文字	36文字	46文字

2.8 メモ用ラベル発行でできること

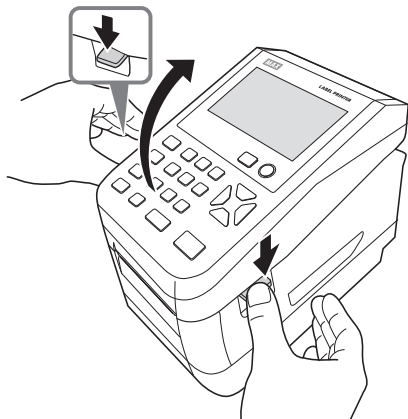
メモ用ラベルを発行します。



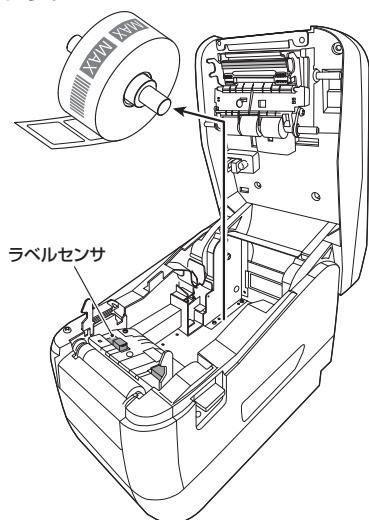
3. お手入れ方法

3.1 お手入れについて

- 1 本機の(電源)キーをOFFにします。
- 2 本体左右のドアカバーオープンレバーを同時に押し下げます。



- 3 ラベルセンサを開き、ラベル紙を取りはずします。

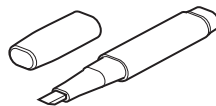


お願い

- 掃除する前に、ラベル紙を取りはずしてください。

プリンタヘッドのお手入れ

印字がかすれてきたときなどは、付属のヘッドクリーナで、プリンタヘッドを清掃してください。

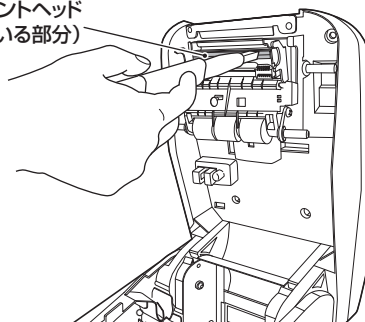


お願い

- 付属のヘッドクリーナ以外は使わないでください。

プリンタヘッドの図の位置をヘッドクリーナで清掃します。

プリントヘッド
(黒く光っている部分)

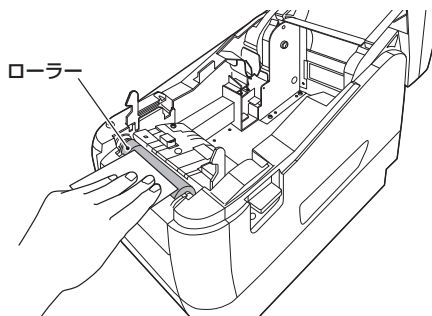


ローラーのお手入れ

しっかり絞った布などでローラーを掃除します。

お願い

- ローラーのお手入れをする場合は、付属のヘッドクリーナは使わないでください。



4. こんなとき

エラー表示と対処方法

LCD 画面に次のエラーメッセージが表示されたときは、下表に従って対処してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[100]	最大入力文字数は256文字です。	文字入力で256文字を超えて入力されました。	テキストボックスの文字数を 256文字以内で入力してください。
[101]	設定文字数を超過しました。	ファイル保存時に入力できる設定文字数を超過して入力しました。	編集後の保存ファイル名は全角16文字までです。それ以内で入力してください。
[102]	設定文字数に足りません。	バーコードやQRCODEの修正入力時に、入力しなければならない文字数が不足しました。	楽らくラベルで設定した通りの文字数で入力してください。
[103]	入力した日付は存在しません。	日付入力でありえない日付や時刻を入力しました。	正しい日付(又は時分)を入力してください。
[104]	現在日以降の日付を入力してください。	現在より前の日付を入力しようとしています。	現在日以降の日付を入力してください。
[106]	最大発行合計枚数は9999枚です。	連番や予約発行で1度に発行する合計枚数が9999枚を超えました。	合計枚数が9999枚以下になるように連番カウントか発行枚数、または予約ファイル数を減らしてください。
[107]	アンダーラインの設定が不正です。	アンダーラインの編集マークが正しく入力されていません。	アンダーラインを引く文字をはさんで対になるよう、編集マークを入力してください。
[108]	上付き／下付きの設定が不正です。	上付き(下付き)の編集マークが正しく入力されていません。	上付き(下付き)にする文字をはさんで対になるよう、編集マークを入力してください。
[109]	上付き／下付きは数字のみ可能です。	上付き(下付き)の編集マークではさんだ文字に数字以外が含まれています。	上付き(下付き)にする文字は、数字のみとして、対になるよう、編集マークを入力してください。
[110]	現在の設定では使用できない文字が入力されています。	書体がPRICE、POP_AまたはPOP_Bに設定されている項目に上付き、下付き文字を設定しました。	楽らくラベルで書体を変更するか、文字を削除してください。
[114]	連番開始は0に出来ません。	連番の開始番号を0に設定しています。	0以外の数値を開始番号にしてください。
[115]	入力できない数値が入力されました。	発行枚数に0を入力したなど、入力してはいけない文字や数値を入力しました。	発行枚数は、1～9999の間の数値を入力してください。
[117]	編集できる項目がありません。	編集に指定したラベルデータに、編集対象とする設定のオブジェクトがありません。	本機でラベルデータを編集する場合は、楽らくラベルでデータを作成しする際、編集したいオブジェクトのプロパティで、[本体で編集する]にチェックを入れてください。
[118]	変更禁止に設定されています。	設定モードで「発行時の変更許可」が「しない」に設定されています。	設定モード→システムで「発行時の変更許可」を「する」に設定してください。
[119]	入力されたJISコードがありません。	入力したJISコードに該当する文字データがありません。	正しいJISコードを入力してください。
[121]	指定のファイルがありません。	指定した番号のファイルがないのに発行や編集を行おうとしました。	名前が表示されるファイルを選択してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[122]	該当するファイルがありません。	選択した分類(フォルダ)に有効なファイルがありません。	楽らくラベルで作成したファイルを「外部メモリへの書出し」で分類名を指定してファイルを作成してください。
[123]	該当する本体リストがありません。	本体リストに該当するデータがありません。	リストに存在するデータを入力してください。
		本体リストがありません。	楽らくラベルLiteで本体リストを作成し、本機に転送してください。
[124]	外部メモリがありません。	外部メモリが正しくセットされていません。	本体背面の主電源を切り、外部メモリを奥までしっかり差し込んで下さい。
[125]	外部メモリが抜かれました。	USBメモリマークが点灯しているときに外部メモリを抜きました。	外部メモリを抜くときはシフト + 削除 / クリアを押して、USBのマークが消えてから抜いてください。
[126]	外部メモリにアクセスできません。	外部メモリ内のデータが壊れている可能性があります。	楽らくラベルでデータを作成しなおしてください。
[127]	有効な外部メモリではありません。	外部メモリの中のファイルが壊れています。	楽らくラベルでファイルを作成しなおしてください。
		外部メモリのデータが壊れています。	パソコンで外部メモリをFATでフォーマットしてから、データを書き出しなおしてください。
		外部メモリのフォーマット形式が異なります。	パソコンで外部メモリをFATでフォーマットしてから、データを書き出しなおしてください。本機で読み取ることのできるファイルシステムはFAT12/16/32のみです。
[128]	該当するデータがありません。	データがない、またはデータの形式が異なります。	指定されたデータがありません。データが保存されていること、データの内容が正しいことを確認してください。
[129]	外部メモリの空き容量が不足しています。	発行や、発行記録に使用するための容量が足りません。	不要なファイルを削除してください。
[131]	パスワードが正しくありません。	設定で入力したパスワードと異なります。	設定モードで入力したパスワードを入力してください。
[138]	文字が入力されていません。	入力が必要な項目で何も入力されていない状態で確定されました。	文字を入力してください。
[139]	入力できない文字が入力されました。	対応外の文字が入力されています。	入力されている文字から対応外の文字を削除してください。
[140]	発行者リストファイルがありません。	発行者管理機能を有効にしている、発行者リストファイルがメモリ内の所定の箇所にありません。	発行者管理機能をOFFにするか、楽らくラベルPro版にて発行者リストファイルを作成しメモリ内に転送してください。
[141]	該当する発行者リストがファイルがありません。	発行者リストファイルの中に該当する発行者番号がありません。	入力した番号と発行者リストファイルに登録されている発行者番号を確認してください。
[150]	印字データの作成に失敗しました。	印字データの内容に誤りがあります。	レイアウトデータ・本体リストを見直してください。
[156]	設定できる加算日時の範囲を超えています。	加算日範囲を超えた日付が入力されています。	加算日時を設定した範囲内にしてください。
[157]	加算日付範囲設定に誤りがあります。	入力された日付範囲に誤りがあります。	範囲設定値を入力し直してください。右の値は左の値以上の値を入力してください。
[158]	保存できるファイル数は8個までです。	既にファイル最大保存数が保存されています。	ファイルを削除してから、再度実行してください。
[159]	入力できるオブジェクト数を超過しています。	一覧リスト入力を含むオブジェクト数が最大数を超過しています。	オブジェクトを減らして、再度保存してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[172]	発行記録がありません。	保存されている発行記録はありません。	発行後に再度実行してください。
[174]	選択された品目の期限が切れています。	期限切れの品目が選択されました。	品目を選択し直してください。
[175]	この品目には期限が設定されていません。	廃棄時に期限が設定されていない品目を選択した。	期限ラベル発行した品目を選択してください。
[176]	親品目が廃棄済みです。	・親品目が廃棄済の品目の期限ラベルを発行しようとした。 ・親品目選択時に、廃棄済の品目を選択した。	親品目の期限ラベルを発行してから子品目を発行してください。
[177]	指定した時間が範囲外です。	期限ラベル発行時の時間指定で、範囲外の時間を指定した。	1～48時間の範囲で入力してください。
[178]	セットされているサイズのラベルには印刷できません。	発行記録印刷、期限切れ一覧印刷で、用紙認識しているラベルが小さい。	現在より大きいサイズのラベルをセットして、用紙認識をして、再度実行してください。
[179]	ファイルが選択されていません。	ファイル選択時に、番号検索・カナ検索で未ヒット状態で、確定を押した。	ファイルを選択して、再度実行してください。
[181]	タッチパネルの検出位置調整に失敗しました。	調整において、誤った位置がタッチされた可能性があります。	再度タッチパネルの検出位置調整を実施してください。
[182]	PBボタンの登録は最大8個までです。	既にPBボタンの最大個数が登録されています。	登録を削除してから再度実行してください。
[183]	ユーザ登録認証コードに誤りがあります。	入力した認証コードに誤りがあります。	コードを確認し、再度入力してください。
[184]	入力した日付は設定できません。	時計合せ、仮想カレンダー入力で、2019年5月1日以前の日付を設定した。	2019年5月1日以降の日付を設定してください。
[190]	文字の印字欠けが発生しています。	印字欠けチェックに該当する文字があります。	レイアウトデータを見直してください。
[191]	時計が印字範囲からはみ出しています。	印字範囲から時計がはみ出しています。	レイアウトデータを見直してください。
[196]	連番開始番号には入力できない文字の組み合わせです。	連番の開始番号に、入力できない組合せの文字を入力した。	全角・半角が混在している、英字・数字が混在している、または、英字が2文字以上入力されている可能性があります。
[199]	用紙を正しく設定できません。	用紙認識が正常にできませんでした。	弊社専用ラベルをセットして再度実行してください。また、専用ラベルであってもまれに用紙認識に失敗することがあります。再度実行してください。
[201]	ラベルサイズが異なります	発行しようとしたラベルのサイズが、本体にセットされているラベルサイズと異なります。	適切なラベルサイズをセットし、用紙認識をしてください。
[300]	ラベルがセットされていません。	用紙認識開始時、または発行開始時に、ラベル紙がセットされていませんでした。	発行するラベルサイズのラベル紙を本体にセットしてください。
[301]	用紙がなくなりました。	用紙認識開始時、発行開始時に、ラベル紙が用紙切れとなりました。	新しいラベルを本体にセットして下さい。
[302]	ドアカバーが開いています。	用紙認識開始時、または発行開始時に、ドアカバーが開いています。	ドアカバーを閉じてください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[303]	ラベル間を検出できませんでした。	ラベルセンサが正しくセットされていない可能性があります。	用紙を正しくセットしてください。
		ラベル発行時に、一定距離シート搬送してもラベル間(タイミングマーク含む)を検出できませんでした。	何度か用紙認識動作を繰り返し、うまくいかない場合はラベル紙を新しいものに交換してください。
[304]	用紙を送ることが出来ませんでした。	発行時に、1回以上ラベル間を検出したあと一定距離シート搬送してもラベル間(タイミングマーク含む)を検出できませんでした。	ドアカバーを開け、先頭を数枚を引き出した後、再度お試しください。うまくいかない場合は、新しいラベル紙に交換してください。
[306]	ヘッドが熱くなっています。しばらく、お待ち下さい。	発行時に、ヘッド温度が高温になっていました。	そのままお待ちください。ヘッド温度が適切な温度まで下がると発行を自動再開します。
[307]	電源が熱くなっています。しばらく、お待ち下さい。	発行時に、電源部が高温になっていました。	そのままお待ちください。電源部の温度が適切な温度まで下がると発行を自動再開します。
[309]	ラベルがラベルセンサの奥になっているか確認してください	ラベルが、ラベルセンサの下にあります。	はじめのラベル位置をラベルセンサの奥側(ロール側)にしてください。
[394]	セットされているラベルが印刷長より短い可能性があります。	印刷した時に、印刷しようとしている用紙長に対して、実際のラベルが5mm以上短い。	セットされているラベルを確認してください。
[401]	本体がパソコンから受信したデータの異常です。	パソコンから発行時に、受信したデータに異常がありました。	パソコンを再起動して、再度ラベル発行してください。または、本機とパソコンの接続を確認してください。
[402]	パソコンからデータ受信中に、データが途絶えました。	パソコンから発行実行時に、所定時間経過してもデータの受信が完了しませんでした。	パソコンを再起動して、再度ラベル発行してください。うまくいかない場合はパソコンの設定を変更する必要があるかもしれません。
[404]	ヘッドが所定の温度より低温または高温になっています。	電源ON時や発行時に、ヘッド温度が使用範囲外となっています。	低温環境下でお使いの場合は、機械が温まってから再度電源をONにしてください。暑いところでお使いの場合は、涼しいところに機械をしばらく放置してから再度電源をONにしてください。うまくいかない場合は修理が必要かもしれません。
[407]	ファイルの受信に失敗しました。	PCからのファイル受信でエラーが発生しました。	再度ファイル受信をおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[408]	ファイルの送信に失敗しました。	PCへのファイル送信でエラーが発生しました。	再度ファイル送信をおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[409]	保存できる容量を越えました。	本体保存容量がいっぱいです。	ファイルを削除し、空き容量を確保してください。
[410]	保存先フォルダの作成に失敗しました。	ケーブルが接続されていない可能性があります。	ケーブルの接続などの通信環境を確認してください。
[412]	FTPサーバとの接続に失敗しました。	FTPサーバとの接続に失敗。	サーバ設定、ネットワーク環境設定や本体LAN通信設定を確認してください。
[413]	サーバへのログインに失敗しました。	サーバへのログインに失敗しました。	ネットワーク設定の確認をおこなってください。
[414]	ダウンロードに失敗しました。	何らかの原因でダウンロード中にエラーが発生しました。	再度、ダウンロードをおこなってください。
[415]	指定の端末ファルダがありません。	本体とサーバの端末番号の設定が合っていません。	各々の端末番号の設定を確認してください。
[416]	フォルダの切り替えに失敗しました。	フォルダの切替に失敗。	通信状況を確認し、再度実行してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[419]	アップロードに失敗しました。	アップロードの失敗。	再度アップロードをおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[427]	発行記録のアップロードに失敗しました。	発行記録のアップロードに失敗。	再度アップロードをおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[430]	ALL、PARTフォルダの切替に失敗しました。	フォルダの切替に失敗。	通信状況やサーバーにALLフォルダ、PARTフォルダがあることを確認し、再度実行してください。
[434]	MLFファイル情報取得に失敗しました。	MLF情報の取得に失敗。	通信状況を確認し、再度実行してください。
[500]	印刷範囲でヘッドの素子が壊れています。印字抜けの恐れあり。	発行時に、印刷範囲のヘッド素子が破損していました。	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理) そのまま印字する場合(印字抜けが発生します)は、設定モード→システム→ヘッド自己診断、をしないに設定し、再度発行してください。
[501]	プリンタヘッドの素子が壊れています。印字抜けの恐れあり。	電源ON時に、ヘッド素子の破損を検出しました。	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理)
[502]	プリンタヘッドが壊れています。	電源ON時または発行時に、ヘッドICの異常を検出しました。	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理)

故障かなと思う前に

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない	電源コードがしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセント、あるいは本体にしっかり挿入し、再度電源ボタンをONにしてください。	—
発行しない (パソコンから発行する場合)	専用ラベル紙をお使いですか。	専用ラベル紙をセットしてください。本機は専用ラベル紙のみお使いいただけます。お手持ちの市販ラベルはお使いいただけません。	5. ふろく
	USBケーブルが正しく接続されていますか。	USBの接続を確認してください。	—
	パソコンのプリンタ設定が正しく設定されていますか。	出力プリンタの設定を「MAX LP-〇〇 (ご使用になる機種)」に設定してください。	楽しくラベル Lite 取扱説明書
きれいに印字 されない	印字がかすれたり、尾を引いたりギザギザが出ていませんか。	パソコンからの出力の場合、プリンタドライバの設定 (楽しくラベル: ファイル - 発行 - プロパティ) で印字濃度調整を行ってください。本体のみの出力の場合、設定 - 基本 - 印字濃度で印字濃度調整を行ってください。	2.2 設定
	ラベル表面にホコリ・ゴミ等が付着していませんか。	本体内部にゴミ・ホコリ等がある場合は除去してからラベルをセットしてください。	本体取扱説明書
	ラベルが黄変していませんか。	直射日光の当たる所や高温になるところに保管すると、ラベルが感光し、正常な印字が出来なくなります。 ※ラベルは冷暗所に保管してください。	本体取扱説明書
	ヘッドまたはプラテンローラが汚れていませんか。	プリンタヘッドは、付属のヘッドクリーナーでクリーニングしてください。プラテンローラは、乾いた布でクリーニングしてください。	本体取扱説明書
印字がきれ	正しくラベル紙がセットされていますか。	再度、ラベル紙をセットしなおしてください。	本体取扱説明書
	印字位置がずれていませんか。	設定 - 位置で印字位置調整を行ってください。	2.2 設定
印字されずにシートを送る	ラベルガイドの位置がずれていませんか。	ラベルガイドを正しい位置にあわせてください。	本体取扱説明書
ラベル紙を送らない	ドアカバーがきちんとロックされていますか。	ドアカバーがパチンというまで、しっかりと閉じてください。電源を再度入れ直してください。	—
ラベル紙が詰まる	ドアカバーがきちんとロックされていますか。	①電源をOFFにし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ②よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。 ③ドアカバーがパチンというまで、しっかりと閉じて、電源をONにします。	本体取扱説明書
	ラベルがきちんとセットされていますか。	①電源をOFFにし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ②よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。 ③電源を再度入れ直してください。	本体取扱説明書
USBメモリにデータが書き出せない	外部メモリの位置は設定しましたか。	「楽しくラベル Lite」を起動し、「設定」 - 外部メモリの設定をしてください。	楽しくラベル Lite 取扱説明書
バーコードスキャナが使えない	電源ON時にバーコードスキャナを挿しましたか。	電源をOFFにして、再度電源を入れなおしてください。	—

よくあるお問い合わせ

ご質問内容	ご質問に対する回答	参照ページ
本体で加算日付の日数を変更したい。	設定してある加算日を本体で変更し、発行(保存)できます。	1.2 本体でレイアウトを新規作成・編集する
本体で日付の表示を変更したい。 (例)別途表面に記載]等に変更したい。	発行時に語句を呼び出して印字できます。	
本体でデータを変更して新しいラベルデータを作りたい。	本体のラベルデータを修正し発行(保存)することができます。	
パソコンからプリンタ本体にデータを書き込みたい。	ラベルデータをUSBケーブル、またはUSBメモリを介して本体メモリに書き出すことができます。	2.5 データ転送でできること
パソコンからプリンタ本体に書き込みできない。	「データ転送」－「取込」－「PCから」で「受信準備が完了しました」画面を表示してください。	
パソコンから市販のUSBメモリに本体発行用のデータを保存したい。	PCに接続されたUSBメモリに書き出しできます。	
市販のUSBメモリにデータを書き出しできない。	外部メモリのドライブ位置の設定を確認してください。	楽しくラベルLite取扱説明書
楽しくラベルソフトの操作方法がわからない。	パソコンで操作マニュアルをご覧ください。	楽しくラベルLite取扱説明書
プリンタドライバをインストール中に画面がすぐ変わらない。	ソフトウェアのトラブルをご覧ください。	体操作ガイド
最新のソフトを入手したい。	お客様登録を行っていただくことで、最新ソフトがダウンロードできます。	本体取扱説明書本
メモリに保存したデータをプリンタ本体で削除したい。	「メニュー」－「レイアウト」－「編集」－「ファイル削除」より削除できます。	2.4 レイアウトでできること
外部メモリへの書き出しの際に「出力ができない領域にオブジェクトがあります」メッセージがでる。	ラベル用紙の印刷範囲外にオブジェクト(データ)がある場合、このメッセージを表示します。印刷範囲内にデータを設定してください。	楽しくラベルLite取扱説明書
外部メモリへの書き出し(本体へ書き出す)が選択できない。	本体のみでラベル発行する「スタンドアロンモード」で有効な機能です。「楽しくラベルPro」では「スタンドアロンモード」で起動して下さい。 ※市販のUSBメモリを使用する際は、セキュリ ティ機能のないものをご使用ください。	楽しくラベルLite取扱説明書

5. ふろく

本機で使えるラベル紙について

■標準でご用意しているラベル(上質感熱紙)

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数
LP-S4028	幅40×ピッチ28	1,350枚	6巻
LP-S4046	幅40×ピッチ46	840枚	6巻
LP-S4062	幅40×ピッチ62	640枚	6巻
LP-S5250	幅52×ピッチ50	770枚	6巻

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数
LP-S3221SP	幅32×ピッチ21	1740枚	2巻
LP-S3242SP	幅32×ピッチ42	910枚	2巻
LP-S4028SP	幅40×ピッチ28	1350枚	2巻
LP-S4046SP	幅40×ピッチ46	840枚	2巻

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数
LP-S4028VP	幅40×ピッチ28	1,350枚	50巻
LP-S4046VP	幅40×ピッチ46	840枚	50巻
LP-S4062VP	幅40×ピッチ62	640枚	50巻
LP-S4080VP	幅40×ピッチ80	490枚	50巻
LP-S5250VP	幅52×ピッチ50	770枚	50巻
LP-S5270VP	幅52×ピッチ70	560枚	50巻
LP-S5276VP	幅52×ピッチ76	520枚	50巻

■そのほかにご用意しているラベル

用紙種 : ユポサーマル、光沢感熱紙、光沢感熱紙(電子レンジ対応)、高耐光感熱紙

サイズ : 最小 W32×P12mm ~ 最大 W52×P80mm

専用ラベル紙となります。詳しくは最寄の弊社営業所までお問い合わせください。